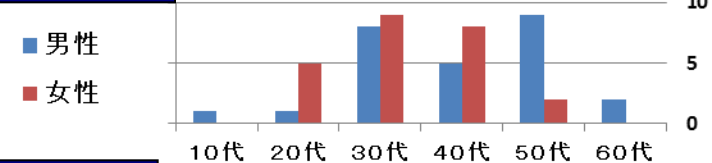


起業の秘訣（我々は、右肩下がり時代になぜ起業したのか） ～バブル崩壊後に起業した関西地域の経営者50名へのヒアリング結果から～

平成25年2月6日
近畿財務局

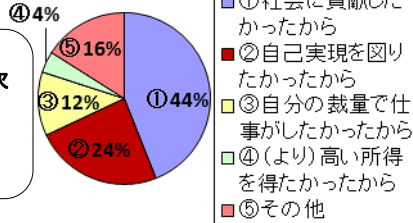
調査概要

起業時の年齢



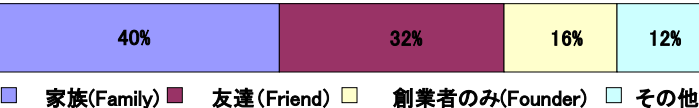
起業の理由

起業の理由は、「社会に貢献したかったから」が44%でトップ。次に、「自己実現を図りたかったから」(24%)が続いた。なお、「高い所得を得たかったから」は、僅か4%にとどまっている。



協力者

起業への協力者の有無は、8割以上が「協力者がいた」と回答。内訳については、「家族」(40%)がトップ。続いて、「友達」(32%)となっている。誰の協力も得なかったという、「創業者のみ」(16%)をあわせた、3F (Family, Friend, Founder)だけで、全体の約9割を占めた。



起業を阻む最大の敵

自分

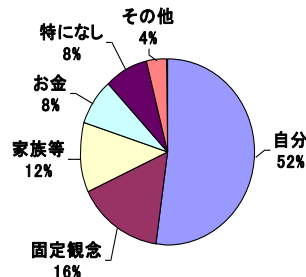
- ・自分の中に潜む弱い心。強い「志」がどれだけ持続できるか。
- ・自分に厳しくないと、起業はできない。

固定観念

- ・法律や制度に加え、日本には古い慣習など多い。
- ・業界内には、しがらみが多い。

家族等

- ・家族の協力がなければ、起業はできない。



起業の秘訣は「志」を持った「ウシ型性格」

起業できた理由を漢字一字で表すと、「志」

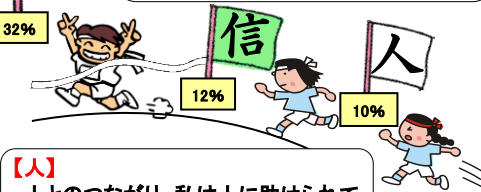
【志】

- ・起業したいと思う強い気持ち(志)が必要。
- ・志が強ければ、起業する勇気が湧き、決断ができる。
- ・自分が何のためにその事業をやるのか、使命感をしっかりと持つことが大事。



【信】

- ・自分を信じること。起業したら、何が起きても自分で乗り越えるしかない。
- ・人との信頼関係、出会った人を大事にすれば次の仕事につながる。



【人】

- ・人とのつながり。私は人に助けられてここまでやってこれた。

自分の性格は「〇〇型性格」



<ウシ型性格>

- ・粘り強く、諦めない。
- ・一步、一步着実に進んでいく。
- ・コツコツと続けていく。

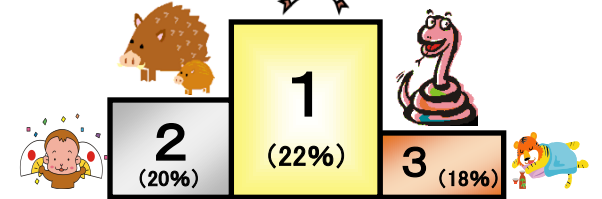


<ヘビ型性格>

- ・しつこい。執念深い。
- ・時々、立ち止まり、トグロを巻いてじっくり考える。

<イノシシ型性格>

- ・目的・目標に向かって突進、一直線。
- ・後を見ない。過去を振り返らない。



起業のきっかけ ～我々なぜ起業したのか～

1. 親父の会社を取り戻したい (オゾン装置、再起を懸けた闘い)

(株)タムラテコ (製造業(衛生装置))

メーカーを退職し、父親が経営する金属加工会社で働くことになったが、祖父が創業したその会社は時流に乗り遅れたことから業績が悪化。4年後に倒産。実家は差し押さえられ管財人の手に渡った。祖父、父親とつないだ会社が途絶え、家までも失ってしまったことに対し「ただ復活させたい(取り戻したい)」との一心で起業。現在は、オゾンを利用した殺菌や脱臭装置の製品開発を行っており、大手飲食チェーンから受注するまでに再起を果たした。

- ・本ヒアリング結果については、当局HPに掲載(事例については12社紹介)。
- ・記者レク実施後は、新聞報道(3社)もされている。

2. 夫の最後のラブレター (亡き夫の思いに応えるために)

(有)プロシード (家事代行業)

元気に出張に出掛けたはずの夫が帰らぬ人。最後の言葉も交わせぬまま、別れなければならなかったことへの無念さから鬱状態に。何もやる気が起きず、ただ、ぼんやりと過ごす日々。「夫と話がしたい」、そんな思いが募り、1ヶ月前の誕生日に夫から貰った手紙に目を通す。そこには、「あなたのイキイキしてる姿を見るのが嬉しかった」、「誕生日に飲み連れて行ったのは、ただあなたを見せびらかしたかったから」などの言葉が綴られていた。溢れる涙が止まらない。しかし、同時に、心の霧も晴れ、塞ぎ込んでいるのではなく、**亡くなった夫に恥じない生き方をしよう**と決意し、起業にチャレンジ。